



「安心」を味方に「働きやすい環境」を提供する 一人ひとりの個性に、とことん向き合う「とも」

人は誰でも、不安になる環境で仕事や作業はしたくないものですね。感覚の情報処理が個性的で、コミュニケーションを取ることが苦手とされる自閉スペクトラム症の症状を持つ方たちにとっても、それは同じこと。一人ひとりが感じる「不安」を取り除き、「安心」を味方にして働きやすい環境を提供する。ともが昨年から改めて始めた取組みを紹介します。

ともに通う方たちは、こだわりの程度や内容、また不安の感じ方や意思の表し方など様々な個性を持っています。事業再編により、昨年4月に新しく開設したとも2nd(セカンド)では、その異なる個性の一人ひとりすべてに「安心」が行き届くよう環境を整備し、「個性」が生きる工夫があります。その一つが、ピンクとブルーで分けられた特徴の異なる部屋。それぞれの部屋間は防音壁で遮断され、音に敏感な方でも隣の気配が気にならないよう配慮しています。



とも2ndの開設により活動の幅が格段に広くなりました。



職員室から、特徴のある2つの部屋を確認することができます。

温かみを感じるよう
ピンクに彩った部屋。



ピンクの部屋は周りからの不要な刺激を避け、不安を感じることなく仕事に専念できるよう工夫した作業席となっています。

ブルーの部屋は大きな部屋に余裕をもって作業机を配置し、壁や窓の位置、人との相性、出入りの気配などを考慮してそれぞれが安心して活動できる「居場所」を提供しています。

気持ちが落ち着けるよう
ブルーに彩った部屋。



パーツの袋詰めにも、人それぞれの個性が表れる。



この方は、25のマスそれぞれの四隅にパーツを必ず立てるという「作業工程」を踏まえることで、数の入れ間違いが起らないようにしている。

感覚の情報処理が個性的な方に必要なことは、時間や物の順序また位置などを整理し関連付け、写真やイラストなどで視覚に訴えて理解につなげる「構造化(*)」です。異なる個性のある方一人ひとりに時間をかけてとことん向き合い、何が最適な「構造化」かを考え、実践を積み上げてきたことで、不安と感じた際に起こる衝動的な行為行動は明らかに減り、ゆとりも生まれてきたようです。

どんなに障害が重くても、働くことで「やりがい」を覚え、生活に「楽しみ」を生み、心も身体も「健康に暮らす」。その実現を目指し、一人ひとりの個性にとことん向き合っています。

取材:広報委員会 (*)裏面で関連記事を紹介しています。

名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAiレポートブログ」から
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAiレポート 検索

伊賀圏域障がい者就業・生活支援センター ジョブサポートハオ

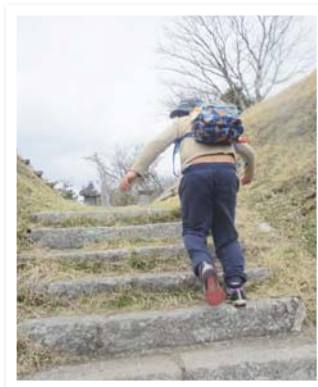
ココロノイロ

新社会人のための学習会を開催しました!

春休みの思い出パート1



今春に高校を卒業し、新社会人として働き始める新社会人の方を対象に学習会を開催しました。今回は、5年以上就労されている「先輩社会人」から、ハオ職員との対話方式で「仕事を続ける上で大切なこと」「仕事をしながら成長するやりがい」「周りから信頼を得る大切



さ」などについてお話いただき、私たちにも大変勉強になりました。

新社会人からは、「夢」や「希望」、また「不安」などとともに、「コミュニケーション能力を高めたい」「休まず勤務できるような健康作りをしたい」など、今後の抱負をいただきました。皆さんの明るい未来を心よりお祈りします。

柘植にある霊山に登ってきました!山頂目指してガタガタ道や木のトンネルをくぐり抜け、休憩しながら登ります。「しんどいな〜」といいながらも頑張っていると、きれいな景色が見えてきました。「うわー、めっちゃ高い!!」「ここまで登ってきたんや!!」。そして最後の階段を登って、山頂に到着!(^^)!。子どもたちも職員もテンションアップ(笑)。疲れたけど、自分の力で登った達成感に満ち溢れていました。

下山後、頑張って登ったことをお父さん、お母さんに伝えて「すごいな!!」とたくさん褒めてもらいました。また一つ少し強くなったね!

通所活動支援 くきょうの家

新しい仲間の紹介



この春に学校を卒業してききょうの家の仲間となったMさんを紹介し、全員で「はじまりのうた」を歌って歓迎しました。学校を卒業したばかりで不安も多いでしょうが、これからみんなと楽しく活動していきま

しょうね。

さて、新生活を迎えるということは、人生での大きな環境の変化です。その中で、できるだけ落ち着いて過ごせるよう、事前にご家族や学校の先生などからたくさんお話を聞かせていただき、その内容を基に私たち支援者で出来ることを考えます。大切なことは、ご本人に「安心できる居場所」だと感じてもらえる「環境」作りです。

一人ひとりの安心に繋がる支援や環境づくりを、チームで考えてまいります。

今月紹介した記事はすべて、「MiRAiレポートブログ」に詳しく掲載しています。ぜひご覧ください。



▲ブログはコチラ

(表面より)

構造化を「安心」に結ぶ。

「構造化」とは、その人が取る行動を一つひとつ順序立て整理して組み上げること。例えば絵カードなどを用いてわかりやすく、コミュニケーションできるようにすることです。

もちろん、それぞれ得意なことは一人ひとり異なります。そこで職員はチームで、一人ひとりの理解に努め、その人にとっての「最適」を探します。

イラストのボードは、時間ごとに、「どの職員」と、「何を」「どのようにするか」を絵カードで表しています。しかし、実施する場所一つとっても、「どのような環境」が相応しいかは、実際に試してみないとわかりません。とことん向き合うからこそ、「構造化」により「安心」に結ぶことができるのです。

ゴゼツ	9じ	うわぎ	かばん	ろっかーにいれる	ゴジ	1じ	まつもとさん	おへやく	おしごとする
	10じ	さかぐちさん	おへやく	おしごとする		2じ	ひろいさん	おちきゅうがい	おしごとする
	11じ	もりたさん	おちきゅうがい	おしごとする		3じ	あだちさん	ほーる	ばんつ
	12じ	にしおがさん	ごはん(くす)	はみがき		4じ	ろっかーから出す	かばん	ほつとへいく